

活動報告

はがき通信を終えて

島本 卓

はじめに

去る9月30日から10月2日の3日間で、「はがき通信懇親会」、「はがき通信・兵庫頸髄損傷者連絡会 合同シンポジウム」、「はがき通信会議」を姫路で開催した。実行委員のメンバーとして参加しました。

はがき通信が姫路で開催できたことは、大変さよりも達成感でいっぱいでした。はじめての事務局担当も貴重な経験でした。今、私ができることを出しきりました。全国から姫路に来てほしい思いで、準備を進めてきましたが、案内の作成に時間がかかってしまうなど、参加者の方に多くの迷惑をかけてしまいました。準備万端とは言えないまま、当日を迎えてしまいましたが、実行委員のメンバーや支援者、ボランティアの方の協力のおかげで3日間を終えることができました。はがき通信終了後、参加者のみなさんから電話やメールで「とても楽しかった」と言ってくれたことでホッとしました。

準備課題編

1. 準備を始めたのは約1年前からでした。まず最初に宿泊するホテルを探しました。条件としてあげたのが2つです。「駅から近くて、ドア口が広い」、「1つのホテルで参加者全員が宿泊できる」。ネットで検索しながら問い合わせをしましたが、結局、分宿で対応することになりました。駅近くのホテルに直接行き、部屋の大きさ、ドア口広さ、エレベーターのサイズなどを見させてもらい、空き状況を聞きながら6件は回りました。2ヶ所のホテルで対応していただけることになり、両ホテルのマネージャーさんのおかげで、計35部屋も仮予約させていただきました。開催日の3日前まで部屋をおさえてくださっていました。

2. 懇親会会場は「駅からの距離が遠い」、一番悩まされたのが「障害者トイレがない」でした。知り合いにも聞いたりしても、情報が集まらなく悩

んでいました。最後に連絡をした同級生が情報をもっていたのです。「駅から近い」「障害者トイレがある」「施設内がバリアフリー」の3つを伝えると、会場まで見に行ってくれました。後日、一緒に会場までの案内と同行をしてくれ、条件をクリアしている、とてもいい雰囲気の会場が見つかりました。

実わ!裏話

連日、作業の遅い私は夜中2時までやっている日が続きました。印刷や資料作成などです。自分の役割もそうですが、キャパを大幅に超えてしまっていたので、30日の朝に目覚めとともにお尻に激痛が走る。振り返れば2日前からお尻に違和感がありました。どうやらヘルペスのようだ。何故わかったかということ、8月にもできていたのと同じ症状だったんです。前日、熱が38℃近くまであがっていました。おまけに自律神経過反射もあり、冷や汗もでていました。

痛みを紛らわそうとしてもやわらぐこともなく、時間とともに痛みが増していきました。帰宅後の夜に皮膚を見ると、ブツブツが増えていました。我慢ができなくなり、10月3日に皮膚科へ直行。予想どおりヘルペスでした。初期だったので4日間、薬の服用で完治しました。見た目よりデリケートなんですよ。

まとめ

はがき通信の実行委員メンバーとして、関わったことは貴重な経験ができました。普段、なかなか会えない方や、新しい出会いがはがき通信でつながる。とても素晴らしいことだと思います。1つの情報が、多くの当事者や家族、支援者に可能性と元気を伝えるんだと思います。同じ境遇で悩んでいる仲間はたくさんいます。

自分の経験をどんどん発信し続けていきたいと思っています。

また姫路で開催したいです。